

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

# 同友

7 月号

2026  
vol.720



## 第64回定時総会

一般社団法人福岡県中小企業家同友会  
時代の転換期、新たな覚悟で挑戦を！



P02-13 特集

第64回定時総会  
分科会ダイジェスト  
2025年度 活動総括  
2026年度 運動方針

▲永年会員表彰を受けた会歴20年~50年のみなさん



福岡県中小企業家同友会  
月刊同友の  
バックナンバー

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



福岡県中小企業家同友会

# 時代の転換期 新たな覚悟で挑戦を!

第64回  
定時総会

日時 2026年5月15日(金) 13:00~20:30 会場 のがみプレジデントホテル

本年度の定時総会は総会後の記念講演にかえて、福岡同友会4つの重点方針に沿った分科会を開催しました。各分科会では報告とグループ討論を通して、より実践的な学びを得ました。また、会場にて会員企業による「マルシェ」を開催。販売商品を通して、作り手の思いや背景も直接聞ける「出会いの場」となりました。

## 分科会ダイジェスト

第一  
分科会

重点方針1 労使見解に基づいた、経営指針の作成・見直しと実践を

働きやすさ×巻き込み力  
～社員と共に育てる経営指針～

報告者

株式会社プロデュース  
代表取締役  
中原 亜希子 氏(ひびき支部)



介護業界は、介護報酬の減額や人手不足など厳しい経営環境が続いています。中原氏も創業当初は離職率40%超、赤字

経営、給料支払いにも苦しみ状況で、事業所に寝泊まりしながら経営を続けていました。見様見真似で経営理念を作るも経営は安定せず、社員と共に学ぶことを決意。若手社員を幹部へ登用し、事業所の閉鎖も経験しながら、改めて社員と共に経営指針づくりに挑戦しました。何を書けばよいかわからず戸惑う社員を前に、まず「ありがたい姿」を描くことを重視。毎月の経営計画作成や数値目標設定、強み・弱み分析を行い、多様な働き方も積極的に受け入れました。また、会議を「決断の場」へ変え、数字にこだわる経営を徹底した結果、離職率や人件費率は大きく改善し、売上や稼働率も向上しました。報告の間には、統括管理者の崎山さんも登壇し10分ほど会社の事を語られました。

た。経営者と共に覚悟を持ち、会社として社員の成長を目指している姿に心をうたれました。(株)プロデュースは、お互いの違いを認め合い、「0歳から100歳までが一つ屋根の下で役割を持つ会社をつくりたい」というビジョンのもと、現在では、130名の会社へととなり、さらに成長を続けています。経営者として「やると決断すること」「継続すること」の大切さを学ぶ貴重な分科会となりました。記録(南)サークル代表取締役 宮本 成樹(北九州支部)

第二  
分科会

重点方針2 いかなる環境においても、「真の黒字経営」を

いかなる環境でも  
真の黒字企業を目指して

報告者

有限会社ユー自動車  
代表取締役  
久保田 洋 氏(大牟田支部)



人口減少が進む地域環境の中で、同社は自動車販売業から「快適自動車生活提案業」へと事業領域を再定義し、変化に対応した経営へ挑戦しています。同社は、価格競争に巻き込まれる事業構造を見直し、钣金・保険・レンタカーなどを内製化。販売・整備・保険・レンタカーを組み合わせた循環型のビジネスモデルへ進化させることで、お客様のお困りごとを解決しながら付加価値を高める経営へ転換しました。また印象的だったのは、「真の黒字」とは単に会社が利益を出すことではない、という視点です。グループ討論では、「社員の給与も黒字にしていかなければならない」「付加価値をどう高めるか」「社員が経営感覚を持つことが重要」といった意見が多く出されました。ユー自動車では数字を公開し、部門別採算や権限移譲を進めることで、社員が自ら考え行動する組織づくりに取り組んでいます。さらに、座長まとめでは「外部環境を直視すること」の重要性が共有されました。環境変化を言い訳にするのではなく、地域の強みを活かして、地

業へ進化していくこと。そのためには、経営者自身が学び続け、自ら学びを取りに行く姿勢が必要だということを変更して感じました。今回の分科会を通じて、真の黒字企業とは、利益だけを追う企業ではなく、社員・顧客・地域から必要とされ、未来へ投資できる企業であることを学ぶ機会となりました。記録(南)大坪物産代表取締役 大坪政樹(ひょうちく支部)

同社は子連れ出勤の導入等で急拡大するも、理念なき採用により組織崩壊の危機に直面。苦難の中、阿部氏は同友会で、労使見解、経営指針書、財務思考、「人は自分と違う」ことを学び、理念採用へと転換しました。フラット組織の弊害やナンバー2運用の教訓から「悪者を作らない」ロジカルな振り返りと幹部のチーム性を構築。ITによる見える化やLINEでのシフト相互支援、経営情報の共有を進めた結果、求人費0円・離職率低下・売上2億円を達成しました。南支部では歴代の支部長の熱量を承継し、「内部強化」「ひとりぼっちを作らない」方針で役員機能と連絡系統を整備してきました。増強目標の明確化や経営指針書作成率の向上で結束を強化し、2024年度には南支部50周年フォーラムを成功させ、純増数・純増率の2冠を達成しました。阿部支部長体制では「増と強の両立」と「科学性・社会性・人間性」の三要素を軸に、さらなる自走組織化と居場所づくり(支部は第3のお家)を推進しており、2025年度も純増数1位を達成しています。真の仲間づくりは「採用数」ではなく「辞めない仕組み」を設計できるかで決まります。阿部氏は、安心して働ける環境、役割と責任の明確化、相談できる関係性



域のお困りごとを解決する企業を運営する(株)ChouChouの代表です。

第三  
分科会

重点方針4 仲間を増やし、強い組織づくりを

仲間づくりは会社づくり  
～同友会活動と自社経営を“不離一体”で実践する～

報告者

株式会社ChouChou  
代表取締役  
阿部 弘美 氏(南支部)



南支部長の阿部弘美氏は保育・福祉事業を運営する(株)ChouChouの代表です。



を目指し、柔軟な働き方、心理的安全性の醸成、組織の見える化、権限委譲、幹部のチーム性に取り組み、結果として組織の活性化と事業の成長に繋がりました。南支部の成果も役員の高量を継承し続けたチーム力によるものです。人を「増やす」「生かす」経営への転換こそが成長を生みます。強い組織とは仲間が育ち、支え合い、自律的に動く組織であり、同友会運動と自社経営は不離一体です。

記録：(株)レイオホーブ 代表取締役 石内雅盛(筑紫支部)



#### 第四分科会

重点方針3 地域を支える中小企業が、地域のインフラとなりえる活動を

### これまでの歩みと、これからの未来 ～地域を支えるタカハ機工の実践報告～

タカハ機工株式会社  
戦略開発部 部長  
大久保 泰宏 氏(飯塚支部)



いただきました。タカハ機工の創業時の話から一時債務超過になったこと、そこから社長の会社を潰さないという強い思いと行動力、社員を巻き込んだ社内改革、エンドユーザ、行政、地域を巻き込んだイベントなど盛り沢山な内容に加え、大久保氏自身がタカハ機工でこれから目指す、ワクワクな気持ちとプレッシャーを熱く語って頂きました。

グループ討論は8グループで行い、社長や社員さん5名も参加。「あなたは地域の中で何を担いますか？」をテーマに討論しました。私のグループには新卒入社から13年目の社員さんも参加されていました。

討論の中で印象に残っていることは、

その社員さんが「13年勤めが続いているのは？」の問いに、「タカハ機工が変化し、良くなっていくの見える。関わっていることにやりがいを感じる」と笑顔で答えてくれたことです。また、参加員からは「働いている人の90%は中小企業。地域に

タカハさんの様な元気な中小企業が幾つも育たないと地方、地域も元気にならないですね」工場見学しているときから明るい雰囲気を感じていた。報告を聞いて納得出来た」などの声がありました。

工場見学ならではの、通常の報告では分からない、偽ることの出来ない会社の雰囲気を感じることが出来、学びの多い見学会でした。グループ討論発表も社員さんがしてくれました。個人的にですが、報告者の中で一番上手な発表だったと思います。

最後に今回の見学分科会開催にあたり準備して頂きましたタカハ機工の社長をはじめ社員さんにはお礼申し上げます。

記録：(株)なから 代表取締役社長 中村 太治(飯塚支部)

#### 第64回定時総会

#### 2025年度 活動総括

## 時代の転換期、 新たな覚悟で挑戦を！



私たち中小企業は、「中小企業経営の立場からみる情勢の特徴(2025)」で報告された通り厳しい状況にあります。特に人材不足や原材料価格の高騰は今後さらに進むことが予想されます。併せて、今後さらに金利上昇が懸念されるなど、大きな時代の転換期にあります。

このような経営環境においても、経営を維持し発展させるためには、改めて自社の存在意義を問い直し、自社の事業領域を再定義して市場創造を行うこと。そ



して「労使見解をもとにした人間尊重の「経営」を実践して人材育成を行い、経営者と社員が丸となって、新たな覚悟で挑戦することが求められます。

2025年度も、昨年に引き続き4つの重点方針をきっかけ運動を推進します。福岡同友会の2030ビジョンの実現をめざし、経営指針書の作成と実践を推進し、どんな環境でも「真の黒字経営」ができる企業づくりを進めます。また各地域で企業づくりと地域づくりを同時に進めていくことが求められ、そのためにも同友会づくりは欠かす事ができません。4つの重点方針とともに、「何のための同友会か」を基にした活動と組織の全体構想の協議を継続して進めます。経営者フォーラムについては全県で取り組む行事として今年も開催します。企業づくり、地域づくり、同友会づくりを連携して取り組み、企業での「新たな挑戦」を推進し、福岡同友会2030ビジョン実現にむけ活動します。

### 重点方針

- 1 労使見解に基づいた、経営指針の作成・見直しと実践を(2030ビジョン企業づくり1-1-1-2)
- 2 いかなる環境においても、「真の黒字経営」※を(2030ビジョン企業づくり1-3-1-4-1-5)
- 3 地域を支える中小企業が、地域のインフラとなりえる活動を(2030ビジョン地域づくり2-1-2-1-6)
- 4 仲間を増やし、強い組織づくりを(2030ビジョン同友会づくり3-2-3-6)

※「真の黒字経営」…給与等の水準が平均以上で、余裕のある社員数を配置し、共育や研究開発に適切な投資を行い、役員報酬を適切に支払った上で、安定して黒字を出せる経営のこと。

本年も、昨年に引き続き4つの重点方針をきっかけ、成文化率と実践率の声掛け、企業変革プログラム「CERB」の推進、経営実態調査の意義や目的の広報、知る会の支援や政策金融公庫を知る会の開催、などに特に力を入れ推進しました。詳細については企業づくり、地域づくり、同友会づくりの項目で総括します。

福岡同友会の「全体構想」については、支部、地区会、委員会が、それぞれの組織ごとに現状と2030ビジョンとのギャップを捉え、「活動」についての見直しを行い、全体で共有し、県全体の活動の見直しについて理事会を中心に協議しました。

経営者フォーラムについては「今こそ同友会、ワクワクしながら挑戦を」のテーマのもと、分科会を本部で担当し幅広いテーマで1年間の学びの集大成として開催、600名の参加目標に対し、委員会や理事会で積極的に声掛けをした結果、登録者数630名、参加数568名でした。基調講演及び分科会ともに会員から高い評価をいただき、ワクワクしながら経営に取り組みするための多くのヒントを得られる場となりました。

増強については会勢目標2500名に対して2467名となりました。引き続き2030ビジョンの浸透と実現をめざし、全県で取り組んでまいります。

同友会の理念を自社の経営に取り入れ、同友会とともに成長・発展する企業づくりをめざします。「同友会に参加して、自分自身が成長し、企業も発展した」と実感を持って語れる会員を増やしていきます。また、経営指針書の作成と実践を通じて、採用・人材育成・仕事づくりに取り組む企業は、どのような経営環境でも安定して黒字経営を続けています。資材高騰や人材不足、事業承継といった経営課題に対しても、同友会のネットワークや学びの場を活かし、会員企業同士が経営課題を共有しながら、解決策を見出していくことが重要です。

今こそ、同友会らしい企業づくりを推進し、労使見解を学び、人を生かす経営を実践することを通じて、より多くの企業が持続的な黒字経営を実現できるよう、取り組みを進めていきます。

1. 経営指針書の成文化と実践を

- (1) 支部・委員会・地区会で目標をかけた、労使見解に基づく経営指針書の成文化を推進します。全県で成文化率60%をめざします。
(2) 経営指針の全社的な実践を推進します。その第一歩は社員を巻き込みPDCAを回すことです。またその実践状況を支部委員会・地区会で交流し全県で実践率40%をめざします。
(3) 成文化率と実践率の声掛けを引き続き行い、全県で声掛け率50%をめざします。
(4) 企業変革支援プログラムの活用により自

のチャンスを生み出します。(3) 専門委員会を活用し、企業の課題解決を図ります。また委員会に関わる会員を増やし、会員の新しい挑戦を後押しします。

成果

- 関連する委員会や支部で商品、サービスの見直しや新しい取り組みに関するテーマで例会が開催され、事業の見直しや新しい仕事づくりにつながりました。
専門性の高い内容の委員会活動が開催され、今後の企業づくりのきっかけになる活動が行われました。
支部と委員会による合同例会が開催され、委員会活動の内容や取り組みについて周知が図られました。



社の現状を把握し、企業変革を推進します。e-Donuの登録者を30社から250社をめざします。

成果

- 経営指針の成文化および実践、ならびに企業変革支援プログラムの取り組み状況について、毎月の理事会にて協議を重ねてきました。その結果、地区会や支部においても、企業変革支援プログラムをテーマとした勉強会が開催されるようになりました。
全県での経営指針成文化率が目標の60%に対して実績57%となりました。
全県での経営指針実践率が目標の40%に対して実績38%となりました。
全県での経営指針声掛け率が目標の50%に対して実績49%となりました。
目標としている250社にはまだ届いておらず、決して十分な数とは言えませんが、理事会での企業変革支援プログラムの実践勉強会や、人を生かす経営推進本部主催の勉強会を継続してきた結果、e-Donuの登録者数は30社から184社へと着実に増加しました。小さな一歩ではありますが、確かな成果として評価できるものと考えています。

課題

- 成文化率・実践率・声掛け率のいずれにおいても達成することが出来ませんでした。今後もすべての支部において声掛け率50%の達成を目標に、より一層の働きかけを行っていくことを課題とします。
企業変革支援プログラムについては、未だ十分に浸透していない会員がいることも

に、理事の中にも未登録者がいる状況です。今後は、運動を推進する立場である理事自らが積極的に活用し、その意義を伝えていくことが求められます。

2. 「真の黒字経営」への実践を

- (1) 赤字会社は黒字会社へ。赤字の原因を捉え営業戦略や損益計画等を見直し、継続して利益を出せる会社に変革します。委員会を積極的に活用し、例会・ブロック会で学びあいます。
(2) 黒字会社は強い会社へ。社員共育や業務効率化等を進め、全社一丸で収益力を向上させます。人や新商品開発などに投資をしながら黒字を出し続けられる強い会社をめざします。
(3) 物価高が進み社員達の生活を圧迫しています。自社の実力や計画の達成状況を見極めつつ、ベースアップなど社員の所得向上に取り組めます。

成果

- 経営指針書成文化の声掛けにあたり、支部内での経営協議や会員企業の経営課題を発見し委員会にて解決するという流れを理事会にて共有しました。
2025年12月期の経営実態調査の結果、黒字、やや黒字企業率が52.5%となり前年同月比(2024年12月、50.5%)2ポイント上昇。一方で赤字、少し赤字企業率は20.1%となり前年同月比(2024年12月、26.3%)6.2ポイント改善しました。

課題

- 支部内において、会員同士が本音で経営を

し、県内の行政職員を含め69名参加いただき中小企業振興基本条例への取組と田川市の事例報告を発信できました。11回目となる情勢勉強会を8月に開催し75名の参加で情勢認識を知り経営戦略を考え実践することで付加価値を高める重要性を学びました。

課題

- 中小企業魅力発信大勉強会の会員の参加が少なく、勉強会の内容を含めた告知と参加促進が必要となります。
2. 中小企業振興基本条例の制定と活用で、具体的な成果事例を全県に

(1) 中小企業振興基本条例の制定と活用を推進して元気な地域づくりの運動を進めます。

- (1) 中小企業振興基本条例が制定されていない地域については、「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、現在、制定に向けて進んでいる那珂川市や他の自治体に関しても積極的に取り組みます。(福岡県61自治体のうち条例制定されているのは福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市・田川市・直方市・福津市・宮若市・嘉麻市・糸島市・宇美町・鞍手町・川崎町・広川町の14自治体です)
(2) 中小企業振興基本条例が制定されている地域は、活用した取り組みを進め、具体的な成果をめざします。
(3) 中小企業振興基本条例が制定されていない地域については、「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、現在、制定に向けて進んでいる那珂川市や他の自治体に関しても積極的に取り組みます。

成果

- 7月開催の中小企業魅力発信大勉強会では



語り合える風土を、さらに広げていく必要があります。まずは理事自身が労使見解を学び、人を生かす経営を実践することで、真の黒字企業となる姿を示していくことが求められます。

- 定期的なベースアップを実現していくためにも、今後も継続して経営体質の改善に取り組む必要があります。

3. 新たな視野で未来につながる仕事づくりを

- (1) 会員同士の経営体験の交流や本音の経営談話により、自社の経営課題や地域課題を発見し、事業領域の見直し、新商品や新サービスの取り組みを推進します。
(2) 会員企業の知識や技術、資源を組み合わせて連携し合うことで、新しいビジネス

課題

田川市の事例報告を発信できたと同時に条例の制定がない自治体(那珂川市や大野城市)の職員に向けてアピールができました。勉強会に参加した会員には中小企業振興基本条例の意義を伝えられたと思いますが、まだまだ多くの会員に伝えられてなく、いかに条例取組の事例など含めて会内に発信するかが重要です。

3. 行政・金融機関・教育機関の関わりと連携を

- (1) 福岡県商工部をはじめ他の行政機関との意見交換を続けて、お互いの問題や課題を共有して会員企業に関わる関係づくりをしていきます。
(2) 県内の信用金庫とは理事長懇談会を開催し地域ごとに関係を深めています。また、日本政策金融公庫との業務提携を活かし具体的な取り組み事例をつくり出しています。
(3) 地域の若者を育む教育と考えると、教育機関との連携を進め、特に各地区・支部活動で取り組んでいる共育型インターンシップについては、各事例の到達点や課題を会議等で共有して推進役として進めていきます。

成果

- 今年も商工部との意見交換会を2回開催することができ、今回の課題であった「価格転嫁」に関する意見交換が深くなりました。1回目の意見交換会後、商工部の職員と事務局員とで32社の会員企業にヒヤリング訪



県の施策をもっと会員に伝え、活用につなげる必要があります。

#### 4. 会員企業の経営実態調査と会内外への発信の強化

- ① 四半期毎の経営実態調査を実施・分析し、会員の実態を結果レポートにまとめ会内外に広報します。
- ② 経営実態調査の結果レポートの内容を充実させ、分析結果を企業づくり・地域づくり・同友会づくりに活かします。
- ③ 経営実態調査の目的とその意義を会内に広く伝え、回答率目標を70%とし、会内外への発信力を強化します。

#### 成果

- ① 10月に開催された経営者フォーラム第3分科会で景況調査から学ぶ実践法として開催しアンケート調査がなぜ必要かと増強や自社そして地域を変えられることに繋がることを学びました。
- ② 昨年3月にリニューアルされた新リリース勉強会を2月に開催し64名の参加があり、具体的な使用方法に加え、よりデータを活用した実践的な学びとなりました。

#### 課題

- ① 経営者フォーラム第3分科会の参加者が50名ほどと少なく、経営実態調査の重要性を会内でどのように伝えるかが重要です。また、4～6月・7～9月・10～12月の経営実態調査回答率が共に20%を切り、回答率の大幅アップの為に経営実態調査結果をどう活用するかを伝え続ける必要があります。

#### 同友会づくり

同友会づくりを進めるうえで、まずは増強です。福岡県として、増強目標を達成すべく増強部を同友会づくり推進本部から外し、1つの組織として独立します。また同友会を深く知ることが大事です。各組織で同友会の歴史と理念を学び、理解を深める必要があります。その上で会員企業が成長する学びの体系づくりや、次世代を担う役員づくりを進める事が福岡同友会を強くします。その基本を進めながら、活発な経営談義とそれを裏付ける会員間の連帯、また他団体（金融機関等）との連携も含めて進めることが大切です。

#### 1. 楽しく学べる増える組織 2025年度全県目標25000名

- ① 新会員フォローアップセミナーを開催し、同友会運動への積極的な参加を促します。
- ② 地区会や支部と連携し、知る会を開催し、入会促進を進めます。
- ③ 支部の例会活性化と各支部のブロック会活性化に取り組み、減らさない組織づくりを進めます。
- ④ 支部活動で自社の課題を発見し、支部から各委員会への参加に繋がります。入会したら学んで実践できる学びの体系を作ります。
- ⑤ 情報発信力を強化し、会員外の経営者と行政、金融、教育機関などに会の運動を戦略的に発信することで福岡同友会の運動の周知と入会促進につなげます。

#### 成果

増強部を独立した組織として位置付けたことで、増強を単なる数値目標ではなく、「同友会づくりの根幹」として考えるきっかけを県全体に投げかけることができました。次年度以降も継続的な取り組みが求められます。

- ① 「知る会」「プチ知る会」の開催数は合計66回、延べ参加人数は、会員1612名・ゲスト527名でした。支部間、地区との連携により開催数だけでなく、内容の質も向上し、同友会の理念や魅力をわかりやすく伝えられました。
- ② 会員増強サミットを開催し、22支部すべてが参加しました。各支部・地区の取り組みや課題の共有を通じて、会員増強を県全体の活動として捉える意識が高まり、支部間の学び合いと連携の促進につながりました。

#### 課題

- ① 増強部会に参加した各支部の課題や現状を把握し、増強活動に必要な打ち手を考える風土づくりを進めることができました。
- ② 計画通り新会員フォローアップセミナーを行いました。支部長に『歴史と理念』を担当してもらうことにより、応援会員が増え新会員をもてなす雰囲気づくりが出来ました。
- ③ 情報発信について、月刊同友の企画や同友会のHP情報の内容の整理ができ仕組みづくりが整いました。
- ④ 県全体で改めて会員増強への取り組みを共有し、さらなる協力につなげていく必要がありました。

#### 課題

- ① 福岡県信用金庫協会（一社）福岡県中小企業家同友会幹部懇談会を2月に開催しました。福岡県信用金庫と2016年に業務提携を結び10年の節目として、地域課題と自社課題の関連、若者定着の課題、企業存在意義を全員で再検討する必要性が共有されました。

#### 課題

- ① 商工部に対しては2、3年おきに部長含めて担当者の交代があるので、引継ぎなどを含めた関係づくりがさらに必要です。また、

あります。各支部がそれぞれ工夫を重ねている一方で、取り組みの成果を全県で共有し、相互に活かしていく仕組みづくりの継続が今後の課題です。

- ② 支部長の担当する『歴史と理念』の説明にレベル差があり、プレを行うなどの対策が必要です。
- ③ 支部担当の告知が上手くいっていないため、担当支部が来ない時があります。
- ④ 土曜日開催を望む声も多く、開催日の検討が必要です。
- ⑤ 情報発信に関して、仕組みづくり（月刊同友の企画、HPの内容確認）がメインとなり、HPや月刊同友の会外への戦略的な検討まで進みませんでした。

#### 2. 次世代を担う役員づくりを

- ① 役員研修大学を開催し、次世代を担う役員づくりをすすめます。
- ② 同友会の歴史と理念を学ぶ重要性が会内で共有され、繰り返し学ぶ環境を整え、語り部を育成します。
- ③ 支部長研修を開催し、その責任と役割を明確にします。
- ④ 現新理事研修を開催し、理事としての責任と役割を明確にします。
- ⑤ 各組織において先を見据えた組織構想を立て、次の役員候補（経営指針を成文化し成果が出ている会員）を育成します。

#### 成果

- ① 役員研修大学を開催し、対象者を支部・地区役員・理事候補及び委員長・副委員長に広げ次世代を担う役員づくりを行いました。

#### 課題

- ① 新会員フォローアップセミナー、役員研修大学、支部長研修で『歴史と理念』を学ぶ研修を設け、繰り返し学ぶ環境を整えました。
- ② 支部長研修の対象者を副支部長まで広げ『支部長の役割と責任』を学ぶ機会を作りました。
- ③ 理事研修を行い、共通言語や理事としての考え方の統一を図りました。

#### 課題

- ① いつ、誰が、どこで、どのような研修に参加してもらうかを明確にし、全会員が対象となる研修づくりを検討する必要があります。
- ② それに伴い全県共通な研修資料やフォーマットを作成する必要があります。

#### 3. 活動が継続する組織づくりを

- ① 組織を整備し、各組織が連携し機能的に動く体制づくりをします。（自主・民主・連帯の精神、で会運営が進められ、企業づくり・地域づくり・同友会づくりを一体と捉えた活動を推進します）
- ② 活動と成果のあらゆる知識と経験をオープンにして、会員が情報を共有できる体制をつくりまします。
- ③ 各組織の課題が引き継がれ、活動が継続する仕組みをつくりまします。
- ④ 理念にもとづき、常に健全な財政の維持と強化に努め、同友会の発展のために執行していきます。
- ⑤ 不測の事態でも会活動が停滞しないよう事業継続力の強化を継続して行います。

#### 成果

- ① 理事会にて全体構想とおして活動と組織の見直しの議論が進められております。
- ② 四半期ごとの会計報告および監事による監査が実施され、適正な会計、執行がされていることを確認しています。

#### 課題

- ① 活動や組織の見直しが進められたのちに、同友会における財政のあり方についても議論していく必要があります。
- ② 今年度予算は期末会員25000名で策定しています。会員数、増強目標にあわせた予算策定を行い次年度につなげていく事が必要です。
- ③ 組織が機能的に連動できる様、引き続き各種規程等の見直しをしていきます。

#### 4. やりがいや働きがいを感じる事務局づくりを

- ① 事務局員の人事評価制度の活用などを通じて、めざす事務局員像を明確にします。
- ② 事務局研修やインタビューシップ受け入れ、全国行事への参加等を通じて、事務局員のキャリア教育を実施します。
- ③ 会員訪問や経営実態調査等を通じて、会員の実態や要望を把握し、会員の課題解決へ向けた取り組みを行います。

#### 成果

- ① 新しい人事評価制度を使い、総括を行いました。求められる能力が明確になってきたこと、普段の仕事振り返る機会となり

#### 課題

- ① 人事評価制度は、まだ道半ばです。事務局員がさらに成長できるよう、見直していきます。また、同友会運動に関する基礎的な知識をもっと身につける必要があります。
- ② 年間計画に入っていないなかった、京都同友会事務局の訪問研修がありました。なかなか先方の意図が伝わってこず、直前での企画となりました。
- ③ 経営実態調査や変革支援プログラムの登録推進、指針作成と実践への声かけなど、県方針の実現に向けて事務局員として関わることが少なかった点は残念です。

# 時代の転換期、 新たな覚悟で挑戦を！



## 企業づくり

同友会の理念を自社の経営に取り入れ、同友会とともに成長・発展する企業づくりをめざします。「同友会に参加して、自分自身が成長し、企業も発展した」と実感を持って語れる会員を増やしていきます。また、経営指針書の作成と実践を進め、採用・人材育成・仕事づくりに取り組み企業は、どのような経営環境においても安定して黒字経営を続けていきます。資材高騰や人材不足、事業承継といった経営課題に対しても、同友会のネットワークや学びの場を活かし、会員企業同士が経営課題を共有しながら、解決策を見出していくことが重要です。

## 1. 経営指針書の成文化と実践・確立を

(1) 支部・委員会・地区会で目標をきっかけ、労使見解に基づく経営指針書の成文化を推進します。全県で成文化率60%をめざします。

(2) 経営指針の全社的な実践を推進します。その第一歩は社員を巻き込みPDCAを回すことです。またその実践状況を支部・委員会・地区会で交流し全県で実践率40%をめざします。

(3) 成文化率と実践率の声掛けを引き続き行い、全県で声掛け率50%をめざします。  
(4) 企業変革支援プログラムの活用により自社の現状を把握し、企業変革を推進します。e-ADVISの登録者を184社から250社をめざします。  
(5) 全県でワンシート作成を推進し、経営指針の成文化率の向上を図ります。

## 2. 「真の黒字経営」への実践を

(1) 赤字会社は黒字会社へ。赤字の原因を捉え営業戦略や損益計画等を見直し、継続して利益を出せる会社に変革します。人を生かす4委員会を積極的に活用し、例会・ブロック会で学びあいます。  
(2) 黒字会社は強い会社へ。企業変革支援プログラムを社員と共に活用し、自社の現状を客観的に把握しながら課題を共有します。社員共育や業務効率化を進め、全社一丸で収益力を向上させます。人材育成や新商品開発への投資を行

いながら、黒字を出し続けられる強い会社をめざします。  
(3) 物価高が進み社員達の生活を圧迫しています。自社の実力や計画の達成状況を見極めつつ、ベースアップなど社員の所得向上に取り組みます。

## 3. 新たな視野で 未来につながる仕事づくりを

(1) 会員同士の経営体験の交流や本音の経営談話により、自社の経営課題や地域課題を発見し、事業領域の見直し、新商品や新サービスの取り組みを推進します。  
(2) 会員企業の知識や技術、資源を組み合わせて連携し合うことで、新しいビジネスのチャンスを生み出します。  
(3) 専門委員会を活用し、企業の課題解決を図ります。また委員会に関わる会員を増やし、会員の新しい挑戦を後押しします。

## 地域づくり

地域づくりとは「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、中小企業と住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取り組みのこと」をいいます。その地域課題を会社の課題として変えて、中小企業憲章・中小企業振興条例を広めていきます。また、行政や金融機関そして教育機関との連携を深めて、中小企業が元気で、地域が元気になることが、地域に若者が残ることと考え、同友会運動として取り組んでいきます。

## 1. 中小企業憲章の 精神を広める運動を

(1) 中小企業魅力発信月間大勉強会を開催し会員には憲章の意義を発信し他団体には中小企業の魅力を伝えます。  
(2) 行政・金融機関・教育機関などに広く呼びかけ、憲章の精神を広める運動を推進します。  
(3) 中小企業憲章を会内で、また社員と共に学ぶなど憲章の精神を深める運動を行います。

## 2. 中小企業振興基本条例の制定と活用で 具体的な成果事例を全県に

(1) 中小企業振興基本条例の制定と活用を推進して元気な地域づくりの運動を進めます。  
(2) 中小企業振興基本条例が制定されている地域は、活用した取り組みを進め、具体的な成果をめざします。  
(3) 中小企業振興基本条例が制定されていない地域については、「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、現在、制定に向けて進んでいる那珂川市や他の自治体に関しても積極的に取り組みます。(福岡県61自治体のうち条例制定されているのは福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市・田川市・直方市・福津市・宮若市・嘉麻市・糸島市・大牟田市・筑後市・大野城市・宇美町・鞍手町・川崎町・広川町・志免町・東峰村の19自治体です)

## 3. 行政・金融機関・教育機関の 関係づくりと連携を

(1) 福岡県商工部をはじめ他の行政機関との意見交換を続けて、お互いの問題や課題を共有して会員企業に関わる関係づくりをしていきます。

(2) 県内の信用金庫とは理事長懇談会を開催し地域ごとに関係を深めていきます。また、日本政策金融公庫との業務提携を活かし具体的な取り組み事例をつくりま

(3) 地域の若者を育む教育と考える、教育機関との連携を進め、特に各地区・支部活動で取り組んでいる共育型インターンシップについては、各事例の到達点や課題を会議等で共有して推進役として進めていきます。

## 4. 会員企業の経営実態調査と 会内外への発信の強化

(1) 四半期毎の経営実態調査を実施・分析し、会員の実態を結果レポートにまとめ会内外に広報します。

(2) 経営実態調査の結果レポートの内容を充

## 同友会づくり

実させ、分析結果を企業づくり・地域づくり・同友会づくりに活かします。

(3) 経営実態調査の目的とその意義を会内に広く伝え、回答率目標を70%とし、会内外への発信力を強化します。

同友会づくりを進めるうえで、まずは増強です。福岡県として、増強目標を達成すべく増強部を同友会づくり推進本部から外し、1つの組織として独立します。また同友会を深く知ることが大事です。各組織で同友会の歴史と理念を学び、理解を深める必要があります。

その上で会員企業が成長する学びの体系づくりや、次世代を担う役員づくりを進める事が福岡同友会を強くします。その基本を進めながら、活発な経営談話とそれを裏付ける会員間の連帯、また他団体(金融機関等)との連携も含めて進めることが大切です。

## 1. 楽しく学べる増える組織づくりを 2026年度 全県目標2550名

(1) 新会員フォローアップセミナーを開催し、入会後早期から同友会運動への参加と定着を図ります。  
(2) 各支部の課題や実情を丁寧に把握し、必要な打ち手を明確にしたうえで、支部・地区と一体となり会員増強を進めます。増強は同友会づくりを進める重要な活動とし、支部・地区とともに前向きに取り組める体制づくりを進めます。  
(3) 支部の例会活性化と各支部のブロック会

いながら、黒字を出し続けられる強い会社をめざします。  
(3) 物価高が進み社員達の生活を圧迫しています。自社の実力や計画の達成状況を見極めつつ、ベースアップなど社員の所得向上に取り組みます。

## 3. 新たな視野で 未来につながる仕事づくりを

(1) 会員同士の経営体験の交流や本音の経営談話により、自社の経営課題や地域課題を発見し、事業領域の見直し、新商品や新サービスの取り組みを推進します。  
(2) 会員企業の知識や技術、資源を組み合わせて連携し合うことで、新しいビジネスのチャンスを生み出します。  
(3) 専門委員会を活用し、企業の課題解決を図ります。また委員会に関わる会員を増やし、会員の新しい挑戦を後押しします。

## 地域づくり

地域づくりとは「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、中小企業と住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取り組みのこと」をいいます。その地域課題を会社の課題として変えて、中小企業憲章・中小企業振興条例を広めていきます。また、行政や金融機関そして教育機関との連携を深めて、中小企業が元気で、地域が元気になることが、地域に若者が残ることと考え、同友会運動として取り組んでいきます。

## 1. 中小企業憲章の 精神を広める運動を

(1) 中小企業魅力発信月間大勉強会を開催し会員には憲章の意義を発信し他団体には中小企業の魅力を伝えます。  
(2) 行政・金融機関・教育機関などに広く呼びかけ、憲章の精神を広める運動を推進します。  
(3) 中小企業憲章を会内で、また社員と共に学ぶなど憲章の精神を深める運動を行います。

## 2. 中小企業振興基本条例の制定と活用で 具体的な成果事例を全県に

(1) 中小企業振興基本条例の制定と活用を推進して元気な地域づくりの運動を進めます。  
(2) 中小企業振興基本条例が制定されている地域は、活用した取り組みを進め、具体的な成果をめざします。  
(3) 中小企業振興基本条例が制定されていない地域については、「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、現在、制定に向けて進んでいる那珂川市や他の自治体に関しても積極的に取り組みます。(福岡県61自治体のうち条例制定されているのは福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市・田川市・直方市・福津市・宮若市・嘉麻市・糸島市・大牟田市・筑後市・大野城市・宇美町・鞍手町・川崎町・広川町・志免町・東峰村の19自治体です)

活性化に取り組み、減らさない組織づくりを進めます。

(4) 支部活動から自社課題を発見し、委員会活動へとつなげる学びの流れを整えます。「学び、実践し、成長できる」同友会を、全会員が実感できる組織を目指します。

(5) 広報情報部と連携し、WEB広告や情報発信の精度を高め、会員外の経営者や行政・金融機関・教育機関等へ戦略的に発信します。福岡同友会の認知と信頼を高め、入会促進につなげます。  
(6) 委員会にスポットをあてた600名規模のフォーラムを開催し、各委員会の認知度を上げ、委員会への参加に繋がります。

## 2. 次世代を担う役員づくりを

(1) 研修対象者を5段階に分け、全会員が対象になる研修を行います。  
(2) 各研修で同友会の歴史と理念を学ぶ機会を作り、繰り返し学ぶ環境を整え、次世代に繋いでいきます。  
(3) 次世代を担う役員を対象の研修を開催し、支部運営や役割と責任を学びます。

(4) 支部長研修を開催し、その責任と役割を明確にし、次期支部長候補(副支部長)と一緒に学べる機会を作ります。  
(5) 理事研修を開催し、会全体を俯瞰的に捉える理事の養成に努めます。

## 3. 活動が継続する組織づくりを

(1) 組織を整備し、各組織が連携し機能的に動く体制づくりをします。(自主・民主・連帯の精神、で会運営が進められ、企業

づくり・地域づくり・同友会づくりを一体と捉えた活動を推進します)

(2) 活動と成果のあらゆる知識と経験をオープンにして、会員が情報を共有できる体制をつくりまます。  
(3) 各組織の課題が引き継がれ、活動が継続する仕組みをつくりまます。  
(4) 理念にもとづき、常に健全な財政の維持と強化に努め、同友会の発展のために執行していきます。

(5) 不測の事態でも会活動が停滞しないよう事業継続力の強化を継続して行います。  
(6) 活動と組織の全体構想の協議に基づき、長期的な視点にたった財政方針について協議していきます。

## 4. やりがいや働きがいを 感じる事務局づくりを

(1) 事務局員の人事評価制度の活用などを通じて、めざす事務局員像を明確にします。また、同友会運動を通じて会員の皆さんのパートナーとなりうるよう、必要な基礎的知識を身につける場を設けます。

(2) 事務局指針に則り、同友会理念と事務局理念の実現という大きな目当てにむけて、日々の仕事がどのように繋がるのかを明確にします。  
(3) 事務局研修やインタビューシップ受け入れ、全国行事への参加等を通じて、事務局員のキャリア教育を実施します。

(4) 会員訪問や経営実態調査等を通じて、会員の実態や要望を把握し、会員の経営課題解決に向けた取り組みを行います。



会歴20年に達した会員(37名)

吉田 伸也 (有)三栄石販	田川
佐藤 隆寛 佐藤産業(株)	西
樋口 純子 (株)アイル	筑紫
坂本 耕司 トライアングルFP	福博
金子 泰大 金子建設(株)	久留米
野川 茂 (有)野川住建	ひびき
伊香賀 亮 (株)Designship	飯塚
山本 主税 (有)デジタルプリンティング山本	東
須堯 正彦 (株)液化ガス	飯塚
甲斐 孝哲 アサヒアイドマ(株)	玄海
津田 敏道 (株)津田	玄海
山田 友康 (医)友知会 やまだホワイトクリニック歯科	玄海
多比良 修 社会保険労務士法人ミライ労務	西
高山 幸治 (株)リオス	東
黒木 幸一 (有)ケイズ・コーポレーション	玄海
御手洗 秀樹 (有)九州電機精機	ひびき
田中 教昌 マルク2運送(株)	東
橋本 雄一 (株)源	東
濱田 浩光 貼りアップ(株)	南

相浦 光男 ユージー・防災設備(株)	福友和
山崎 文章 (株)シェルバ	かすや
岩崎 輝志 (株)アド・ベンチャー	東
牧本 貴宏 (株)まきもと 向日葵グループ	博多
浦里 武敏 フラワーズ ブルーベル	福友愛
江口 昌寿 (有)江口通商	玄海
甲斐 久幸 (株)バナックスメディア	福博
中野 秀孝 (株)なかの設計	玄海
池上 隆紀 (有)東南地所	西
今村 昭生 九州男児建設(有)	博多
大津 正樹 (株)紙資源	東
国崎 晃 (有)アイコン	東
平田 祐樹 タケダ情報機器(株)	玄海
恒吉 大介 (株)ケンショー	福博
元嶋 律子 小さなゆめ	飯塚
殿川 卓 (有)トーフ工業	東
波多江 正剛 (株)島本食品	西
飯田 剛也 (株)タウンズポスト	福友和

増強表彰 (敬称略)

支部表彰(会員増強最高の支部)

入会数(支部で紹介いただいた新会員数)	福友愛支部	50名
入会率(入会数を期首会員数で割った数)	りょうちく支部	26.9%
純増数(支部で期首より増えた会員数)	南	17名
純増率(純増数を期首会員数で割った数)	りょうちく支部	23.1%

個人表彰(年間5名以上の新会員の入会推薦をした会員の皆様)

氏名	事業所名	所属支部	推薦数
須藤 司	農業人	のおがた	7名
川原 史郎	メディカルケア(同)	博多	5名

2026年度 第1回 理事会議事録

開催日時	5月27日(水) 14時30分~17時46分	会場	福岡県中小企業振興センター401会議室
出席数	35名(出席率92.1%)	議長	井上 明

〔審議事項・協議事項〕  
**1 入退会審査**  
 入会16名、退会28名、休会2名が承認され、5月承認会員数は2,443名となった。また移籍4名が確認された。  
**2 「全体構想」について**  
 貞兼代表理事及び各担当副代表理事より「活動」工程表について進捗が報告された。継続協議。  
**3 2026年度定時総会について**  
 2026年度定時総会について、当日参加結果、参加者アンケートの結果が報告された。質問・意見のうち、理事会で検討することとなった2つの件については、来月以降の理事会で協議を行う。  
**4 2027年度定時総会について**  
 2027年度定時総会の日程および会場について  
 日程:2027年5月19日(水)、会場:グランドハイアットホテル が承認された。  
**5 企業づくりより**  
 経営指針の成文化率と実践率の数値、企業変革支援プログラムVer2のe.doyu登録者数が報告された。  
**6 増強本部より**  
 会員数2550名を達成するための各支部の方向性や具体的な取り組みについてグループ討論を行った。  
**7 地域づくり推進本部より**  
 第8回経営実態調査にて、特別報告として実施する「中東情勢緊迫化に関する影響調査」の内容が承認された。また、回答を促進するための取り組みとして、従来通り全会員へのe.doyu 配信に加えて、新たに各支部での役員会及びブロック会の場で、調査に回答する時間を設けることが承認された。  
**8 同友会づくり推進本部より**  
 広報情報委員会へ各支部から1名の担当者の選出が依頼された  
**9 研修本部より**  
 8月26日理事研修の企画が承認された。  
**10 総務財政室より**  
 ・役員選考規程第3条3項の記載表現の変更  
 (現在)委員は各地区の選出数の内半数は現理事を選出する  
 (改定案)委員は各地区の選出数の内半数は選出時に理事の者を選出する

理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

・訃報に関する手続きの変更  
 ① 連絡方法について  
 (現在)連絡をFAXで行い、FAXが送れない場合はメールにて案内する(改定案)連絡をメールで行い、メールアドレスがない場合はFAXにて案内する  
 ② 連絡範囲について  
 (現在)本人死亡の場合は所属支部全員、配偶者、1親等以内の親族は所属ブロック会員  
 (改定案)本人、配偶者、1親等以内の親族は所属支部会員全員以上が承認された。  
**11 中同協関係**  
 中同協障害者問題委員会副委員長として牧本貴宏さん(博多支部)が承認された。  
**12 増強本部より**  
 5月28日に開催予定の知る会研修会+は延期することとなった。  
**13 会員企業の動き**  
 ■ 経営革新計画承認企業  
 ● 2025年3月(県37件/うち同友会会員企業2件)  
 ※累計で福岡県全体では10,198件、会員企業は延べ596件です。  
 ・(有)東亜紙工社 荒川 堯平さん(筑紫支部)  
 <内容>非公開  
 ・アトラス化成(株) 穂坂 昌之さん(東支部)  
 <内容>下請からの脱却のため、コア事業を既存の「製造」から「企画・提案」への構造転換  
 ■ 表彰など  
 ● 同友エコ2025-2026  
 <外部審査委員賞>  
 (株)博多印刷 白石 雄士さん/糸島支部  
 印藤 健さん /福友和支部  
 田口 堅一さん/かすや支部  
 <同友エコ奨励賞>  
 (株)大匠建設 井上 真一さん、倉重 竜祐さん/博多支部  
 ● 第64回全国青年農業者会議にて 農林水産大臣賞受賞(畜産経営部門) 辻養蜂場(株) 辻 諒太さん(飯塚支部)

2026年度 役員名簿

(敬称略)

		支 部	氏 名	事業所名	役 職	
代表理事		南	貞兼 朋記	(株)ルックルック	代表取締役	
	新任	東	井上 明	富士食品(株)	代表取締役社長	
副代表理事		南	北原 正	社会保険労務士法人 COMMITMENT	代表社員	
		飯塚	重松 和孝	(有)コンサルティングオフィス	代表取締役社長	
		北九州	松木 祥也	(株)松木工務店	代表取締役社長	
		福友愛	入江 恵美	(株)オー・エー企画	代表取締役専務	
		南	栗山 浩	(株)アーキテックス	代表取締役	
		りょうちく	檜原 憲一	(株)カラーリングファーム	代表取締役	
専務理事		事務局	川畑 義行	(一社)福岡県中小企業家同友会	専務理事	
地区会長	福岡	福友和	森 慎吾	(株)アール・ツーエス	代表取締役	
	北九州	ひびき	小林 正広	(株)上津役製作所	代表取締役	
	筑豊	のおがた	小屋根 雄作	(有)丸憲製作所	代表取締役	
	県南	大牟田	久保田 洋	(有)ユー自動車	代表取締役	
相談役		飯塚	鶴田 和寿	コースイ(株)	取締役会長	
		ひびき	市丸 皓士	(株)グロウザーHD	代表取締役	
役員選考委員長	兼任	飯塚	鶴田 和寿	コースイ(株)	取締役会長	
理 事	東支部	新任	東	森 仁志	和新工業(株)	代表取締役社長
		福岡支部	福博	西田 英司	(株)カルベ・ディエム	代表取締役
	博多支部	博多	木本 修司	(有)木本設備工業	代表取締役	
	中央支部	中央	足立 知弘	いちご会計事務所	所長	
	西支部	新任	西	石見 勇樹	(株)セブン商事	代表取締役社長
	南支部		南	阿部 弘美	(株)ChouChou	取締役
	筑紫支部		筑紫	満永 貴久	(株)吉丁	後継者
	福友愛支部	新任	福友愛	吉住 征一	(株)リーシングサポート	代表取締役
	福友和支部	新任	福友和	王 愛	(有)五十番食品	代表取締役
	青年支部	新任	青年	内野 裕太	内野裕太社会保険労務士事務所	代表者
	玄海支部		玄海	長澤 幸成	(株)マツダオートザム福岡東	代表取締役社長
	かすや支部		かすや	今林 和文	(有)和白電業	代表取締役社長
	糸島支部	新任	糸島	石田 宜之	(株)有田コーポレーション	代表取締役
	北九州支部		北九州	古賀 亨	(株)ヘルサービス	代表取締役
	ひびき支部		ひびき	伊藤 孝司	北九州商店(株)	取締役
	のおがた支部		のおがた	須藤 司	農業人	代表者
飯塚支部		飯塚	中村 太治	(株)なかむら	代表取締役社長	
田川支部		田川	奥永 尊仁	土地家屋調査士奥永事務所	所長	
久留米支部		久留米	浅野 明裕	(有)アサノ自動車	専務取締役	
大牟田支部		大牟田	岡村 孝司	(有)岡村商店	代表取締役	
有明支部		有明	濱田 満広	(株)濱田設備	代表取締役	
りょうちく支部		りょうちく	大坪 政樹	(有)大坪物産	代表取締役	
事務局長		事務局	坂田いづみ	(一社)福岡県中小企業家同友会	事務局長	
監 事		東	光本 智恵子	(株)すこやか工房	代表取締役	
		南	大串 和義	大串公認会計士・税理士事務所	代表者	
		福友愛	山田 秀樹	日本ビルケア(株)	代表取締役	

永年会員表彰

(敬称略)

会歴50年に達した会員(3名)

田崎 公持	田崎自動車(株)	筑紫	有馬 進	(株)不動工業	北九州
前田 豊	あおぞら法律事務所	福友愛			

会歴40年に達した会員(5名)

古賀 利映	(株)愛香園	博多	長井 士郎	(株)フォーユー	福友和
古賀 兼吉	(有)こが事務所	博多	黒木 義彦	(株)黒木建設	玄海
吉田 昭和	福岡製袋工業(株)	博多			

会歴30年に達した会員(12名)

宮崎 栄二	(株)R101	福博	竹原 佳秀	(有)博多ビジネスセンター	玄海
田島 英一郎	(有)タシマタオル	久留米	市丸 皓士	(株)グロウザーHD	ひびき
西藤 興治	エスエス産業(株)	東	矢頭 美世子	(株)やずや	博多
小林 博三	(株)アルシオーネ	福友愛	石橋 一海	(株)JEC	福博
緒方 徹	(有)緒方板金	久留米	浅井 克則	(株)トーケン	福友和
岡崎 信介	ジャスト法律事務所	西	崎田 正司	(有)自然薯王国	南



**9 木** **かすや支部7月例会**  
11:30~13:30

ミコー薬局 夢ホール  
糟屋郡志免町志免3-1-6  
☎ 092-935-3960  
ランチの1時間が、一生の仲間になる!  
~かすやの未来をつなぐ、新会員歓迎ランチ会~  
■ **御手洗 善教 氏**  
みたらい商事株式会社 代表取締役  
(かすや支部)

**15 水** **東支部7月例会**  
18:00~21:00

ホテルクリオコート博多  
福岡市博多区博多駅中央街5-3  
☎ 092-472-1115  
人を生かす経営が黒字経営をつくる  
~社員主体で築く強靱な経営体質とは~  
■ **前田 努 氏**  
ベルテクネ株式会社  
代表取締役社長(福友和支部)

**15 水** **西支部7月例会**  
18:30~20:30

アクア博多 A会議室  
福岡市博多区中洲5-3-8  
☎ 092-263-4770  
企業変革支援プログラム Ver.2入門勉強会  
自社の経営 健康診断しませんか?  
■ **花田 理恵 氏**  
株式会社サワダ  
代表取締役社長(西支部)

**16 木** **のおがた支部7月例会**  
18:30~21:00

ユメニティのおがた  
直方市山部364-4  
☎ 0949-85-1007  
AIは難しくない!"ちよい使いAI"実践  
共有例会  
~実例から学ぶ、参加者同士で使い方をもち帰る~  
■ **志柿 明子 氏**  
有限会社アサップ・ASAP 動物病院  
代表取締役(のおがた支部)  
■ **吉岡 孝一郎 氏**  
株式会社HAPPINESS 代表取締役  
(のおがた支部)  
■ **福島 裕介 氏**  
room 代表者(のおがた支部)

**16 木** **福友愛支部7月例会**  
18:30~21:00

アクア博多  
福岡市博多区中洲5丁目3-8  
☎ 092-733-1310  
WEB会議システム「Zoom」  
(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
向き合い続けたその先に  
~経営者の自己変革が、組織を動かす~  
■ **樋口 祐也 氏**  
株式会社アイル 代表取締役社長  
(福友愛支部)

**16 木** **ひびき支部7月例会**  
18:30~21:00

コムシティ大会議室  
北九州市八幡西区黒崎3-15-3  
☎ 093-641-9360  
『一人ではできない事』を可能にする  
巻き込み型経営者の実践  
■ **市丸 皓士 氏**  
株式会社グロウザーHD 代表取締役  
(ひびき支部)

**16 木** **中央支部7月例会**  
18:20~20:45

アクア博多  
福岡市博多区中洲5丁目3-8  
☎ 092-733-1310  
WEB会議システム「Zoom」  
(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
これからの時代の経営者に求められる  
こととは  
~持続可能な企業を目指して~  
■ **恩田 昭美 氏**  
株式会社Beyond One 代表取締役  
(中央支部)

**16 木** **筑紫支部・青年支部  
7月合同例会**

18:30~20:50  
筑紫野市生涯学習センター  
☎ 筑紫野市二日市南1-9-3  
092-918-3535  
士業だって完璧じゃない。従業員  
の退職で苦悩する社労士の本音  
■ **吉田 俊郎 氏**  
社会保険労務士法人T2パートナーズ  
代表社員(福友愛支部)

**企業連携推進委員会 FAST**

**17 金** **FAST7月例会**  
18:20~20:30

福岡同友会事務局全体会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡  
県中小企業振興センタービル11F  
☎ 092-686-1234  
ランチエスター戦略×中小企業 小さな  
会社が業績を上げる連続セミナー  
弱者の戦略・強者の戦略  
■ **深見 信吾 氏**  
深見経営株式会社 代表取締役  
(東支部)  
中小企業向け「AI社員」構築支援  
■ **大坪 勇二 氏**  
株式会社ソーシャルワークシェアリング  
代表取締役(会外)

**17 金** **久留米支部7月例会**  
18:30~20:40

ハynesホテル久留米  
久留米市天神町1-6  
☎ 0942-32-7211  
企業を成長させる仕組みづくり  
~人情とAIでつかむ新時代の営業戦略~  
■ **北島 洋平 氏**  
株式会社KCF 代表取締役(久留米支部)

**同友すばる委員会**

**18 土** **事業承継塾第2講**  
14:00~17:00

福岡県中小企業振興センター401B  
福岡市博多区吉塚本町9-15  
☎ 092-686-1234  
事業承継の税制  
■ **四ヶ所 十郎 氏**  
合資会社こちら総務部 代表社員  
(有明支部)

**21 火** **博多支部7月例会**  
18:00~20:20

天神クリスタルビル 大ホール  
福岡市中央区天神4-6-7-3階  
☎ 092-733-1310  
主体性に火を付ける組織作り  
日本一若い校長の挑戦  
■ **柴山 翔太 氏**  
合同会社INSPASSION LAB 代表社員(会外)

**21 火** **田川支部7月例会**  
18:30~20:30

県立大学大セミナー室  
田川市伊田4395  
☎ 0947-42-2118  
同友会を知る会  
■ **上原 晃一 氏**  
株式会社ユナイテッドファム 代表取締役  
(田川支部)  
■ **星野 勝也 氏**  
株式会社LIG 代表取締役(田川支部)

**21 火** **糸島支部7月例会**  
18:30~21:00

波多江コミュニティセンターはたえ館  
糸島市池田216番地1  
☎ 092-322-1614  
「不離一体」で挑む組織変革  
理念共感型採用と仕組み作りで実  
現する自走する組織  
■ **阿部 弘美 氏**  
株式会社ChouChou 代表取締役  
(南支部)

**21 火** **福友和支部7月例会**  
18:20~20:50

アクア博多  
福岡市博多区中洲5丁目3-8  
☎ 092-733-1310  
WEB会議システム「Zoom」  
(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
社内での理念浸透と社外への理念発信  
~同友会の学びから組織の発信力  
を向上させる~  
■ **貞兼 朋記 氏**  
株式会社ルックルック 代表取締役  
(南支部)

**21 火** **北九州支部7月例会**  
18:30~21:00

KMMビル第3・第4会議室  
北九州市小倉北区浅野2-14-1-4階  
☎ 093-511-6450  
WEB会議システム「Zoom」  
(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
離職ループからの脱却  
10年で30人退職した会社が、人が辞めない  
組織に変わるまで  
■ **村田 学 氏**  
株式会社北九州消防設備保守センター  
代表取締役(北九州支部)

**21 火** **玄海支部7月例会**  
18:30~21:00

チクモビル大ホール  
福岡市中央区天神3-10-27  
☎ 092-715-3250  
経営者としてどう生きる?  
■ **小林 正広 氏**  
株式会社上津役製作所 代表取締役  
(ひびき支部)

**フォローアップ部会**

**23 木** **新会員フォロー  
アップセミナー**

18:00~21:00  
振興センター303  
福岡市博多区吉塚本町9-15 3F  
☎ 092-686-1234

**24 金** **飯塚支部7月例会**  
18:30~21:00

バドゥル・コトブキ  
飯塚市片島1丁目7-62  
☎ 0948-22-5138  
空き家は負債?それとも資産?  
~再生が連鎖するまちづくり~  
■ **吉浦 隆紀 氏**  
有限会社吉浦ビル 代表取締役(南支部)

**24 金** **りょうちく支部7月例会**  
18:30~20:45

北野生涯学習センター  
久留米市北野町中273-1  
☎ 0942-78-2308  
納得感を大切に評価の仕組みを  
創り上げてきた  
■ **辻本 聡 氏**  
アップスマイル税理士法人 代表者  
(福友愛支部)

**経営労働委員会**

**25 土** **経営指針作成  
あすなろ塾**

9:15~17:45  
福岡県中小企業振興センタービル  
501会議室  
福岡市博多区吉塚本町9-15  
福岡県中小企業振興センタービル5F  
☎ 092-686-1234

**25 土** **大牟田支部7月例会**  
16:30~19:00

gosenfu  
大牟田市古町1-8  
企業経営を学ぶ  
祭りの存続と地元企業

**27 月** **有明支部7月例会**  
18:30~20:00

白柳荘  
柳川市新町16  
☎ 0944-73-1188  
竹下産業が考える付加価値経営  
■ **竹下 政敏 氏**  
竹下産業株式会社 代表取締役  
(有明支部)

**28 火** **福博支部・南支部  
7月合同例会**

18:00~20:00  
アークホテルロイヤル福岡天神  
福岡市中央区天神3-13-20  
☎ 092-724-2222  
WEB会議システム「Zoom」  
(ZoomミーティングID等は別途連絡)  
熱い思いと強い覚悟  
託す覚悟の先で人も会社も強くなる  
■ **権藤 光枝 氏**  
株式会社Branches 代表取締役  
(福博支部)

**バリアフリー委員会**

**30 木** **特別支援学校との  
意見交換会**

15:00~16:45  
福岡県中小企業振興センター401  
福岡市博多区吉塚本町9-15  
☎ 092-686-1234  
企業と学校のつながる対話会  
まずは聞いてみる・話してみるところから



月刊  
同友

7  
月号  
2026  
vol.720

会員

トピックス

番外編

# 第64回 定時総会 フォトレポート

今年は筑豊地区会の趣向を凝らした催しが特徴の総会となりました。  
マルシェ会場は顔を知った同士、終始和やかな雰囲気につつまれ、交流会では筑豊らしい出し物で、会場を沸かせました。

## 総会



26年度役員より



増強表彰の皆様

## 同友会マルシェ



開催地区会長より



余興・創作炭坑節



来賓の皆様



## 交流会

2026年7月1日発行（毎月1回・1日発行）

福岡同友会

<https://www.fukuoka.doyu.jp/>

アンケートにご協力ください 回答締切 7月31日(金)

月刊同友会では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。  
よろしければQRコードからアンケートにお答えください。（所要時間 4分）



一般社団法人 福岡県中小企業家同友会  
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号  
福岡県中小企業振興センタービル11階  
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

北九州地区センター  
〒802-0001 北九州市小倉区浅野1-2-39  
クルーズ浅野ビル808号  
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

県南地区センター  
〒830-0038 久留米市西町1367-1  
祥栄ビル2階  
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366